

図の作成に当たっては国土地理院発行の2万5千分の1地形図（口永良部島）を使用した

図1. 口永良部島火山の水準測量路線。

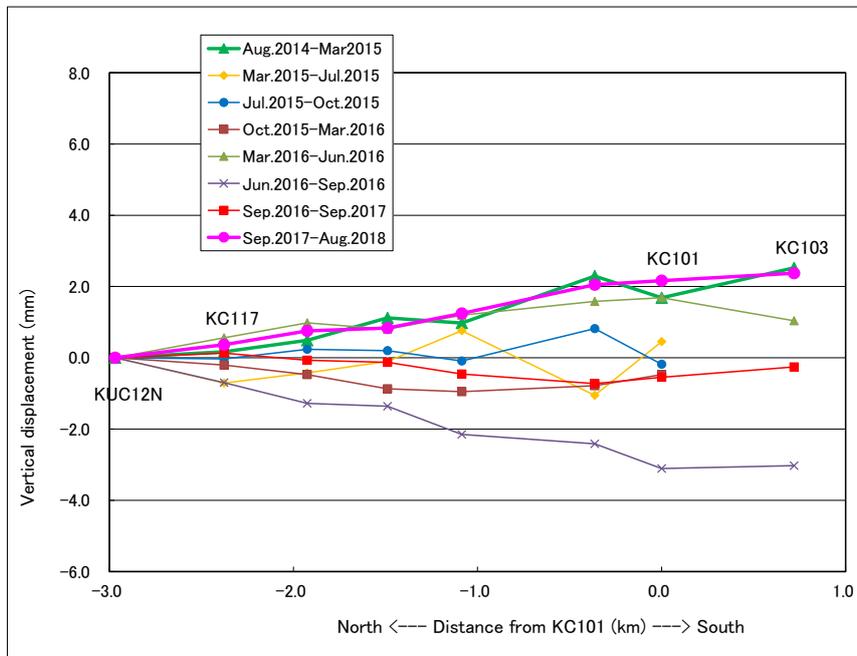


図2. 水準測量結果。最新の測量は、2018年8月27日-28日に実施（測量区間：KUC12N~KC103）。路線最北部のKUC12Nを基準。2017年9月11日-12日（前回測量）～2018年8月27日-28日の期間（図中の桃色太線）、路線南部に向かって明瞭な地盤隆起を示している（KC103で2.4 mm）。2015年噴火前の隆起（図中の緑太線：2014年8月～2015年3月の期間）に変動量・パターンともに類似。

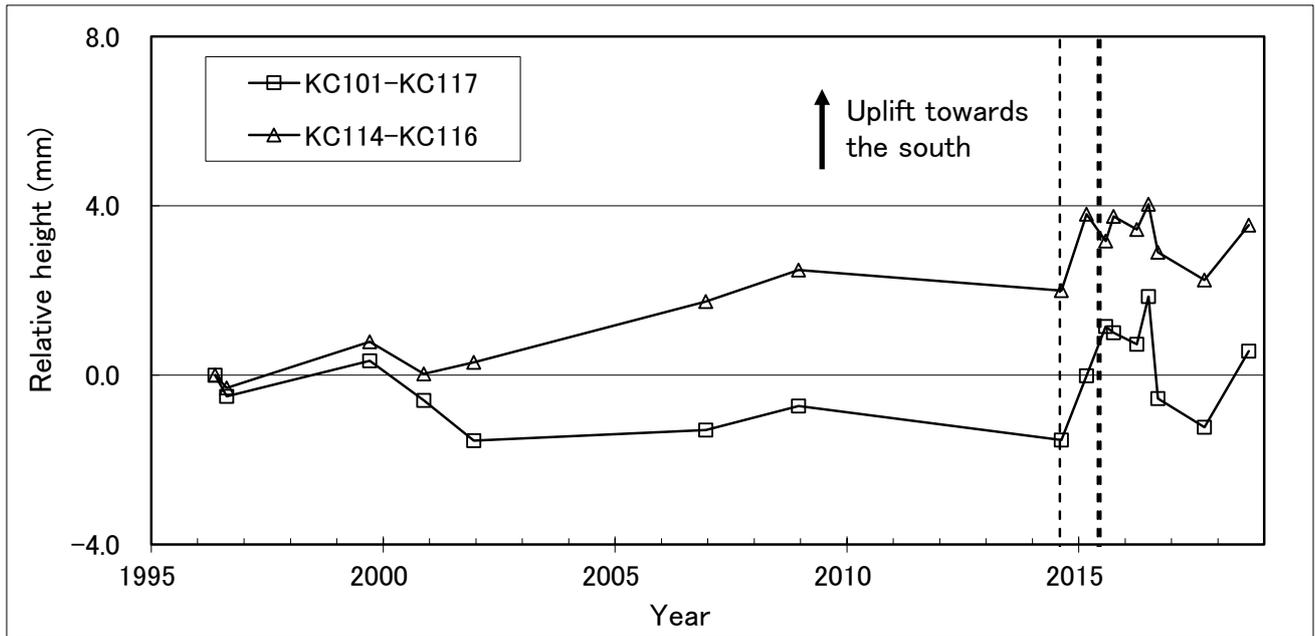


図3. 1996年5月（水準測量開始）以降の、KC117を基準としたKC101の地盤上下変動の経年変化（白四角）およびKC116を基準としたKC114の地盤上下変動の経年変化（白三角）。破線は、2014年8月3日、2015年5月29日および2015年6月18日の噴火のタイミングを示す。